

各組合議会からの報告

4月27日に全員協議会が開催され、留萌消防組合議会と留萌南部衛生組合議会より、平成29年度の活動状況の報告を受けました。



今年度においても、留萌消防組合議会として消防体制をさらに充実強化するべく、しっかりと努めていきます。

留萌消防組合議会として、平成29年度第1回臨時会から平成30年第1回定例会までの計4回の消防組合議会の経過および活動状況について報告を行いました。各議員から質疑を行いました。

主要な経過報告として、消防組合予算の補正に関する事項のほか、各種条例の一部改正についてや救助工作車の新規購入についての報告を行いました。

留萌消防組合議会

報告に対し議員から「3市町の苦情内容を知りたい」「ごみをリサイクルすることによる収益などを説明し、ごみ分別の意識を醸成すべき」と意見が出ました。

留萌南部衛生組合議会として、平成29年度の活動状況の報告として、まず、平成29年度の定例会等の審議内容と30年度の第1回定例会で歳入歳出総額8億748万8千円としたことを報告。次に各施設の課題と対応について説明しました。

①衛生センターは、設置から40年が経過し、老朽化による修繕が多く、現在、施設の延命化を協議している。

②生ごみ処理施設の菌体が通路に山積みとなっているため、適切な対応をするよう業者を指導している。

③プラ製容器・紙製容器分別調査結果では、留萌市のプラ製容器の分別が58・3%と不適切な分別が多い。

④最終処分施設の可燃系埋立ごみの区画は、31年度に被覆施設の移動を予定している。

留萌南部衛生組合議会の活動状況の報告として、まず、平成29年度の定例会等の審議内容と30年度の第1回定例会で歳入歳出総額8億748万8千円としたことを報告。次に各施設の課題と対応について説明しました。

留萌南部衛生組合議会

第2 常任委員会からの報告



▲市に審査結果報告書を手渡す野崎議長

■院外処方箋FAXコーナー設置に関する陳情
3月に「留萌市立病院院外処方箋送信のためのFAX設置に関する陳情」が市議会に提出され、第2常任委員会に付託されました。4回の審査の

結果、「地域包括ケアシステム」を実現するに当たり、患者さま本位の対応で健康維持・増進と国が勧める「かかりつけ薬局制度」の推進に向けて病院と薬剤師会など、職種連携による充実したチーム医療の構築が不可欠であることから、行政において多職種を繋ぐ役割を鑑み、「市民の医療・福祉向上を目指した患者サービスの環境を整える

ための努力を期待する」と付帯意見をつけ「趣旨採択」としました。
■乳幼児医療費助成拡大
子どもたちが安心して必要な医療を受けられ、子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、平成30年10月より医療費助成の対象を拡大し、乳幼児から中学生までの入院・通院に係る医療費を全額助成する条例改正の議案報告を受けました。

第1 常任委員会からの報告



▲利用者が減少する市民農園

■市民農園の開設状況について
市では、家庭菜園を身近に親しむため、環境を整備し、農作物を育てる楽しさや余暇の充実を目的として、市民農園を開設しています。

しかし、年々利用する市民が少なくなってきたため、6月中旬まで募集を継続することが報告されました。
次年度以降、効果的な募集方法について検討していきます。

■合同墓設置の検討について
親類縁者がいないなど、さまざまな事情で墓の継承や管理が困難な市民が増えてきていることを受け、市は合葬式のお墓（合同墓）の設置を検討しています。
委員会では、道内各地の合同墓の設置状況が示され、収蔵可能数、使用料各地の墓石の写真などが報告されました。
合同墓設置に向けて委員会の中で議論を深めていきます。

留萌市議会だより

第129号

平成30年8月1日発行

議会です こんにちは

●留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700

URL : <http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html>

E-mail : rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

主な内容

- P12 ・議員定数に関する市民と議会の意見交換会
- P13 ・各組合議会からの報告
・各常任委員会からの報告
- P14～P16 ・第2回定例会一般質問項目
- P17 ・予算審査特別委員会からの報告（一部抜粋）
- P18 ・平成29年度 留萌市議会議員出席状況
- P19 ・こんなことが決まりました
・かずの子フェスタと市民育樹祭に参加しました……ほか

議員定数に関する市民と議会の意見交換会 議会の姿を知り、議員定数を考える



市民と議会の意見交換会を6月29日、保健福祉センターはーとふるで開催しました。

テーマは「議員定数について」。市内の産業団体や奉仕団体、金融機関、学校など28団体から出席いただいた約40人が「基調講演」に耳を傾け、「グループ議論」で真剣に意見交換しました。

講師の北大名誉教授：神原勝氏（左上写真）は、市民が削減を求める理由として、①財政がひっ迫、議会も定数・報酬を減らすべき ②人口同規模の自治体が減らしている（横並び）③人口減少 ④議会不信 ⑤立候補者が少なく、選挙の無風化を挙げ、特に議員・議会評価を上げるための議会改革の内容について分かりやすく説明。「議会見える化のための議会モニター設置や『討論のヒロバ』は議会の生命線。最低限どれだけの議員数が必要なのかを考える

べき。プラス思考で定数を考えるか、マイナス思考に流れていくか。留萌方式を皆さんでつくりだしてほしい」と話していました。

5グループでの意見交換では、「お話を聞いて、議会の姿を知り、削減すべきと思ってきたが、考え方が変わった」「このような議会を知る機会をもっと増やしてほしい」など意見をいただきました。グループ発表では、参加者の8割が現状の定数が好ましく、削減すべきという意見はありませんでした。

議会としては、3月に実施したアンケート調査結果も参考にし、8月中に一定の結論を出すための議論を重ねていきます。



平成30年第2回定例会

般質問と答弁



むらやま
村山 ゆかり
萌芽クラブ

質問 留萌高校現況と留萌中学校移転協議

4月から旧留萌千望高校校舎で新留萌高校がスタート。市は学校周辺の変化をどう捉えているか。道教委は、旧留萌高校譲渡価格を2億5千万円から3億円としていたが進ちよく状況を聞きたい。留萌中学校移転検討の進ちよく状況を伺う。

答弁 登下校時の交通量が増えているが大きな渋滞はない。問題が生じた場合、関係機関が連携して対策を検討する。正式な不動産鑑定はしていないが、道教委の内部精査で近々譲渡価格が提示される。留萌中学校の改修経費も含めて協議し、今年度内に一定の方向性を定めたい。

質問 「るもい健康の駅」に入浴設備
市内から銭湯がなくなつて2年が経過。持ち家に風呂を設置するリフォーム助成や市営住宅改修の計画的な風呂整備を進めたいとしていたが、現在の状況を伺いたい。るもい健康の駅旧浴室を改

修し、入浴設備の設置を提案する。

答弁 浪華湯が廃業し2年が経過したことを契機に自宅にお風呂がない市民を調査し、現在の対応状況を聞き取りたい。るもい健康の駅旧浴室改修には、関連する法律や道の条例に基づく基準や構造を満たす必要性と大がかりな改修も必要となり、入浴施設は難しい。



▲「るもい健康の駅」に入浴設備の設置を要望



かわぐち
川口 宏和
萌芽クラブ

質問 公共施設等の建設に向けて
公共施設などの建て替えを考えると建設費用の抑制や市民サービスの向上のために、公共施設の複合化が必要と考える。建設用地の確保などをどう考えているか聞きたい。

答弁 今年度設置する公共施設庁内検討会議で将来必要となる施設の機能や規模、市民が利用しやすい施設のあり方を考え、複合化の可能性や施設建設費用の抑制手法も検討し、次年度以降の官民プロジェクトによる協議につなげたい。今後の人口減少を見通したまちづくりの議論や適切な施設規模などの協議を進める中で建設用地の確保について検討したい。



▲老朽化が進む市役所庁舎

質問 副港周辺地区の今後について
旧北海道合板跡地の利活用に対する考えを伺いたい。船場公園や留萌港などと連携して賑わいを創出できないか。留萌港副港周辺地区の整備についてどう考えているか聞きたい。

答弁 地中にピットなどが残っており使用区域を限定して冬期間に隣接する市営駐車場の雪捨て場として活用するほかイベント時の臨時駐車場に活用しており、今後も同様となる。栄町交差点の4車線化計画が進められている。多くの意見をいただいで判断したい。

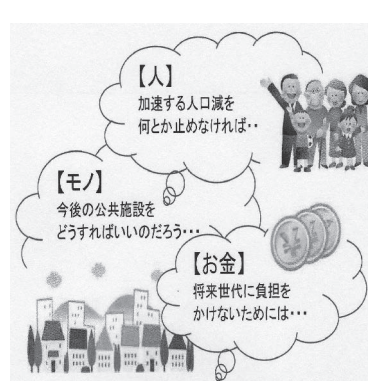


さわい
澤井 篤司
萌政会

質問 人口減少の抑制策について
留萌市の2045年の人口はこのままだと1万人を割るという衝撃的な推計を国が発表した。留萌市人口ビジョンの根拠が書き換えられたことで、現在の計画と施策の練り直しが必要と思うがどうか。

答弁 人口減の抑制に向け、農業を核とした経済戦略、健康・賑わいブランド戦略などさまざまな施策に取り組んだが、減少の緩和には至っていない。今後、地方創生協議会での議論を踏まえた中で、総合戦略の見直しを行い、減少抑制と地域の活性化策を検討したい。

質問 将来のまち機能と経済活性
コンパクトシティの実現に向けた構想、地価などの資産デフレ対策、将来に向けた自主財源を増やす方策を伺う。



▲衆議院から安心は生まれない。四大経営資源「人・モノ・カネ・情報」でまちの安定化を

答弁 居住空間と交通ネットワークの



うしろ
鵜城 雪子
萌政会

質問 黄金岬の現状

留萌市内で最も多くの観光客が訪れる黄金岬の老朽化した和式トイレやキャンプ場の整備をする必要があると思うが、市長の考えをお聞きする。また、ふるさと創生事業の1億円で作られた黄金岬のライトアップ施設は、鳥のフンや錆で著しく景観が損なわれているが今後どのように対応するのか。

さらに、黄金岬からゴールデンビーチに至る留萌の財産ともいえる西海岸線が雑草で覆われ見苦しい。これらの美化対策を考えているかお聞きしたい。



▲黄金岬の老朽化した洗い場とトイレ

答弁 黄金岬は今後整備補修が必要。実態を把握したので、観光協会や関係団体などと相談し順次手をかけていく。

質問 沿岸部の避難路の確保
三泊町・塩見町・春日町の地区は、避難路の確保をはじめ指定緊急避難場所や指



▲道の駅登録が検討される「るしんふれ愛パーク(船場公園)」

答弁 道の駅の供用開始前に国土交通省に申請を行う必要がある。現在、庁内関係機関や関係行政機関との協議な



かさらは
笠原 昌史
民主

質問 道の駅構想について
市の道の駅の供用開始時期と施設に内容について伺う。

組み合わせや公共施設の再編も考慮しながら、コンパクトで無駄のないまちづくりを目指したい。新たな投資を呼び込む方策など官民で知恵を出し、経済の活性化を図ることで土地の需要が高まると考える。

経済団体との情報共有を行い、起業しやすい環境整備や新たな投資を引き出す仕組みづくりなど、これまでの経済対策を一步進めることでまちに対する好循環が生まれ、その持続的取り組みが自主財源の増加につながるものと考えている。



とみず みほこ
戸水美保子
留萌公明党

質問 広聴機能の充実について
中西新市政において、市民の声を意識して聴く仕組みを作る考えは。

答弁 市長とのフリートークは、これまでは特定の日にちに行われていたが、今後は日にちを決めずに公務の日程を見ながら随時行い、市民の皆さんにお



▲旭川商業高校吹奏楽局を出迎える留萌高校吹奏楽部の生徒たち

会いし、声を幅広く聴いて行くようにする。団体などの場合は、おいで頂くだけでなく、必要に応じてこちらから出向くことも考えている。さらに、市民のまちづくりへの関心や参加意識を高めるような住民に開かれた広聴機能の運用について研究していく。

質問 音楽合宿事業について
事業の成果と今後の継続発展についてのお考えは。

答弁 一般社団法人留萌青年会議所が実施主体となり、事業運営を行っている。参加団体は年々増えていて、平成29年度は、6団体7回413名の合宿を受け入れた。事業を通じ、地域経済の活性化や青少年の健全育成、交流人口の拡大などに大きく寄与している。また、合宿事業に参加していた生徒が、地方から留萌市内の企業などに就職したことも聞いている。今後とも、市として合宿事業支援を継続していきたい。

予算審査特別委員会からの報告（一部抜粋）

【総務費】

Q 公共施設劣化度調査委託料401万円の事業内容について。

A 施設の劣化度調査費計画の策定費であり、3月までに施設の調査を終わらせ、素案の策定を行いたい。

Q コンビニ収納は全ての市税に対応するのか。

A 対応税目は、「市民税の普通徴収」「固定資産税」「軽自動車税」「国民健康保険税」の4税で、納税者の利便性を重点的に考えて稼働させていきたい。

【衛生費】

Q 産婦健診健康調査事業について。

A 産後うつや新生児への虐待の予防を図るため、市でも取り入れることとした。市立病院の産婦人科、通園センター、子育て支援センターなどが連携し、可能性がある方については「エンジンバラうつ質問票」を使い対応する。

Q 保健師不足が大きな課題となっている。現在の人数と不足している人数は。

A 保健医療課に配属されている保健師は7人で2人を募集している。



▲乳幼児健診をする保健師

【労働費】

Q 地元若者人材育成事業について。

A 企業が求める人材、必要なスキルなどを調査し、人材開発センター運営協会と連携しながら、地元の企業への就職などに役立てるために進める。

Q 若者の早期離職の問題について。

A 働く側の意識も昔とは違ってきている。在学中に仕事について理解してもらうことの必要性を学んでもらう事業にしていきたい。

【農林水産業費】

Q 市が把握する森林の分類について。

A 市の用地面積の7割以上が森林である。このうち、国有林66.4%、市・私有林26.8%、道有林6.8%となっている。

Q 農業者の後継者不足について考える。

A 農業体験プログラムを通した短期受け入れを行うことで、留萌市で就農したい方を募集したい。

Q 新しい農産加工品の調査研究について現在考案中のものは。

A 研究段階だが干しイモを考案中である。また、出荷できない花きをドライフラワーとして、製品化も視野にいれ研究している。

Q 地元の農業者による特別な製品の生産加工などの展開は。



▲美しく咲き誇る「トルコギキョウ」

A 長野県で開発されたコサージュという新しい品種のトルコギキョウを留萌で栽培し、品質の高さが評価された。

【商工費】

Q ゴールデンビーチへの誘客を促すためのテレビCMの放送とはどのようなものか。

A 観光宣伝物負担金の支出により、テレビ北海道に44回、イベント等のCMを市と観光協会、留萌商工会議所の3社で負担を分担し、

6月14日に予算審査特別委員会を開きました。

放送するものである。



▲CM放送される「ゴールデンビーチ」

Q 観光ブランド向上販路拡大PR事業の目的は。

A 首都圏における情報発信拠点である留萌市と繋がり深い「るもいマルシェ」などとの連携により地域特産品の知名度向上、販路拡大を図っていくことを目的としている。

【土木費】

Q るしんふれ愛パークの出入口は、一方通行だが、間違えて出口から入る車もいる。出口と書いた看板が小さいので対策はできないか。

A 公園側で目立つような表示ができるかについて検討したい。

Q るしんふれ愛パークに、市内から誘導するための看板を設置できないか。

A 道の駅登録の際に道路管理者と相談し、設置できるようにしたい。

【教育費】

Q 英語指導助手（ALT）の業務内容を伺う。

A 中学校を中心に小学校にも出向き英語の活動を進めている。学校が夏期・冬期休暇のときは、幼稚園や保育園にも派遣している。

Q 温水プール「ぶるも」が期間および時間を延長した場合に使用できる施設について伺う。

A 昨年同様、25メートルプールの使用を想定している。子ども用プールやエレベーターなどは使用不可とする。



▲留萌最大の観光スポット「黄金岬」

質問 J R留萌線を残す方向で取り組み、市民に適切な情報提供を市長が「J R留萌線存続の可能性を探る行動に出た」ことを評価したい。国やJ R北海道が流す情報だけでなく市民に対しては、留萌線を残すための情報提供が必要だ。市長の考えを伺う。

答弁 沿線4市町長で協議会をつくった。情報を集めセミナーも開きたい。

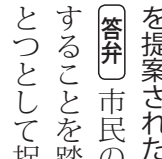
質問 黄金岬をはじめとする留萌市の観光について



坂本 茂
さかもと しげる
無党派

観光事業は、経済活動として極めて大切。地域が誇る宝に光をあて、来て・観て・触れて・味わってもらい、お金を落としてもらう。そのためには環境整備と事業者の参画が欠かせない。年間12万人が訪れる黄金岬は留萌最大の観光スポットだが、トイレや駐車場問題、市の空き施設の放置など、カニ釣りを楽しみに訪れる子どもたちや高齢者、障がいのある人、外国の観光客にとって大きなマイナス要因となっている。ドクガ駆除を含め整備を急ぐ必要があると考える。市長の見解を伺う。

答弁 黄金岬の環境整備については、黄金岬観光協会、市観光協会と話し合いついて来年度以降に計画したい。ドクガ駆除についても関係者と連携して進める。



燕 昌克
つばめ まさかつ
留萌市議会

質問 まちづくりの今後について

以前の留萌中学校の懇談会において、旧留萌高校校舎を市役所庁舎として活用を提案されたが市長の見解を伺いたい。

答弁 市民の利便性や窓口業務が分散することを踏まえながら、選択肢のひとつとして捉える。私としては市の中心部にあることが理想と考えているが、時間をかけて議論していきたい。

質問 観光施設「道の駅」登録について

一般道路に自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩機能、沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報機能、地域の核が形成され、活力ある地域づく



▲今後の議論によっては、制限される可能性がある船場公園管理棟



村上 均
むらかみ ひとし
留萌公明党

質問 観光施設「道の駅」登録について

一般道路に自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩機能、沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報機能、地域の核が形成され、活力ある地域づく



▲るしんふれ愛パーク（船場公園）管理棟

質問 中小企業の設備投資を促す制度について

中小企業の設備が老朽化し生産性が伸び悩んでいることを背景に、中小企業の積極的な設備投資を後押し、生産性の飛躍的な向上を進めることを目的とし、「生産性向上特別措置法案」が成立したが、法案に基づく市の支援内容について伺う。

答弁 国の方針に基づき、導入促進基本計画を策定する、制度の趣旨を踏まえ、市内の中小企業が導入する先端設備に対する固定資産税の軽減措置を3年間ゼロとするなどの支援をしたい。

こんなことが決まりました

平成30年 第2回定例会
6月5日～15日

平成30年第2回定例会が11日間の会期で開催され、諮問1件、報告6件、議案7件、意見書案9件などを審議しました。

【諮問】

- 人権擁護委員の推薦について 適任

【報告】

- 留萌市土地開発公社の平成29年度決算に関する書類
及び平成30年度事業計画に関する書類の提出について ほか5件 了

【議案】

- 平成30年度留萌市一般会計補正予算（第2号）
- 留萌市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市立病院医師修学資金貸付条例制定について ほか3件 原案可決
- 留萌市公平委員会委員の選任について 同意

【意見書案】

- 核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書
- 旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書
- 地域材の利用拡大推進を求める意見書
- 日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書
- ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書
- 2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書
- 2018年度北海道最低賃金改正等に関する意見書 ほか2件 原案可決

編集後記



第2回定例会では、9氏が一般質問に立ち、「観光」や「防災」、「廃校利用」、「人口対策」など山積する市の課題について、市長の考えを問いました。中でも市の「道の駅構想」は、市民の関心も高いことから、多くの議員が供用開始時期や施設のあり方などについて、一般質問で取り上げました。

現在、留萌市議会では、ICTを活用したインターネット配信など、新たな議会広報について検討を進めています。また、来年改選期を迎える留萌市議会では、議員定数に関する「市民と議会の意見交換会」を6月29日に開催し、今後の議員定数について、参加した市民と議論を深めさせていただきます。（笠）

かずの子フェスタと市民育樹祭に参加しました

かずの子フェスタ 5月5日（こどもの日）、るしんふれ愛パークで開催された「かずの子のマチ留萌フェスタ」で、KAZUMOちゃんのイラスト入り“うちわ”と留萌市議会が提案した『かずの子条例』の内容を紹介したチラシを配布しました。

「かずの子条例」は、留萌市の地場産業の振興と地域内の経済循環への波及効果を期待して平成28年に制定しました。管理棟では、市内水産加工会社が数の子を使ったオリジナル料理の試食や商品販売が行われ、大勢の来場者で賑わっていました。参加した議員8人が、法被姿で「かずの子条例」をPRしました。

市民育樹祭

神居岩総合公園内の「21世紀桜の丘」で開催された市民育樹祭で、議員6人が植樹と施肥を行いました。留萌市森林・林業・林業活性化推進議員連盟の事業協力として、毎年参加しています。開催された5月13日は、朝からあいにくの雨模様でしたが、日本さくらの会から寄贈されたエゾヤマザクラとヤエザクラの若木50本を参加した市民とともに植えました。また、これまでに植樹された桜の木に肥料をまき、これからも咲き薫ることを願いました。「21世紀桜の丘」と「サクラの森」には1,483本の桜が植樹されています。



▲かずの子フェスタに参加



▲市民育樹祭に参加

平成29年度 留萌市議会議員出席状況 平成29年4月1日～30年3月31日

※(公)は公の要件による欠席 ※(病)は入院などによる欠席 ※(監)は監査による欠席 ※(一)は出席対象外の会議 ※委員会は開催状況により出席回数 が異なります		議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
		議 員 名	土田悦也	澤井篤司	笠原昌史	米倉靖夫	燕昌克	鵜城雪子	川口宏和	小野敏雄	野呂照幸	戸水美保子	珍田亮子	野崎良夫	坂本茂	村山ゆかり	坂本守正	村上均	
委 員 会 等		開催数	17	17	17	17	16	17	17	17	17	14	17	17	15	17	17	16	17
定 例 会		17	17	17	17	16	17	17	17	17	14	17	17	15	17	17	16	17	
臨 時 会		5	3	5	4	5	5	3	5	5	4	5	5	5	5	5	4	5	
特 別 委 員 会		予算審査	2	0	2	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		決算審査	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	—	3	
議 会 運 営 委 員 会		23	—	—	—	—	23	21	15	—	15	23	23	21	—	23	23	23	
常 任 委 員 会		第 1	17	17	17	—	15	—	16	14	17	17	—	—	—	—	—	17	
		第 2	14	—	—	14	—	14	—	—	—	—	14	14	14	14	14	—	
		広 報	10	10	—	10	7	—	10	9	—	—	10	—	—	—	9	7	—
議員定数に関する特別委員会		3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	
議員定数に関する特別委員会(小委員会)		5	—	—	—	—	5	—	—	5	—	5	—	—	5	—	5	—	
全 員 協 議 会		5	4	5	4	5	5	5	4	4	3	5	5	5	4	5	5	5	

協議等の場	開催数	構成委員
各派代表者会議	15	正副議長（野崎・村上） 議会運営委員会委員長（燕） 会派代表（珍田・小野・戸水・坂本守正）
四役会議	1	正副議長（野崎・村上） 議会運営委員会正副委員長（燕・川口）
委員長会議	3	正副議長（野崎・村上） 各委員会委員長（燕・野呂・村山・鵜城）
危機対策会議	1	全議員
留萌線対策会議	5	正副議長（野崎・村上） 会派代表（土田・小野・戸水・坂本守正・米倉）
公共施設に関する調査研究会議	1	正副議長（野崎・村上）（村山・澤井・燕・小野・野呂・坂本茂）

一部事務組合等	開催数	構成委員
北海道後期高齢者医療広域連合議会議員	2	村上
留萌市監査委員	41	坂本守正
南部衛生組合議会・協議会	10	議長（村山）・笠原・鵜城・戸水
消防組合議会・協議会	7	議長（野呂）・澤井・米倉・小野・坂本茂
消防組合議会監査委員	16	坂本茂

主な各種会議の内容について

◆定例会

議案など議会で審議される事項（事件）の有無にかかわらず、定期的に招集される議会の会議で、留萌市では条例で年4回と定めています。

◆臨時会

定例会のほかに、臨時に会議を行う必要がある場合、必要な特定の事件に限り、随時招集される議会のことをいいます。

◆特別委員会

常任委員会のほかに、特定の問題を審査するために必要に応じて設置される委員会で、基本的に全議員で構成されます。

◆議会運営委員会

議会運営の全般について協議し、意見などの調整を図るために設けられている委員会です。審議の期

間や順番、議案や質問の取扱いなどの議会の運営や会議規則、委員会条例などに関する協議、調査、審査を行います。また、議会基本条例の検証や見直しも行っており、月に2回以上開催しています。

◆常任委員会

市の事務に関する調査や議案、請願・陳情などの審査を行うために、条例で常設する委員会です。留萌市では第1、第2、広報の3つの委員会が設置され、議員は少なくとも1つの常任委員会に所属しています。所管より事前に配布される資料を読み込み質問事項などを整理し委員会に臨んでいます。

◆全員協議会

全議員が、将来審議される問題などの事案について、報告・協議するための会議です。

